

警察庁

NATIONAL POLICE AGENCY

警察庁事務官採用案内

採用窓口

お問合せ先	所在地	電話番号	交通手段
警察庁 長官官房人事課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番2号	(03)3581-0314 (直通)	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線 「霞ヶ関駅」下車 徒歩1分 又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車 徒歩3分
北海道警察情報通信部 通信庶務課	札幌市中央区 北二条西7丁目	(011)251-0110 内線6032	JR「札幌駅」下車 徒歩15分
東北管区警察局 警務課	仙台市青葉区 本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎B棟15階	(022)221-7181 内線2622	市営地下鉄「勾当台公園駅」下車 徒歩2分
東京都警察情報通信部 通信庶務課	東京都千代田区 霞が関2丁目1番1号	(03)3581-4321 内線60311	東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」下車 徒歩3分 又は 東京メトロ有楽町線「桜田門駅」下車 徒歩1分
関東管区警察局 警務課	さいたま市中央区新都心2番地1 さいたま新都心合同庁舎 2号館22階	(048)600-6000 内線2636	JR京浜東北線「さいたま新都心駅」下車 徒歩5分
中部管区警察局 警務課	名古屋市中区三の丸 2丁目1番1号 愛知県警察本部庁舎本館8階	(052)951-6000 内線2622	市営地下鉄名城線「名古屋駅」下車 徒歩5分
近畿管区警察局 警務課	大阪市中央区大手前 3丁目1番41号	(06)6944-1234 内線2632	大阪メトロ谷町線・大阪メトロ中央線「谷町四丁目駅」下車 徒歩2分
中国四国管区警察局 警務課	広島市中区上八丁堀6番30号 広島合同庁舎1号館5階	(082)228-6411 内線2632	JR広島駅からバスセンター経由バスにて 「合同庁舎前」バス停下車
四国警察支局 警務・監察課	高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館9階	(087)821-3111 内線2632	JR「高松駅」下車 徒歩3分
九州管区警察局 警務課	福岡市博多区東公園 7番7号 福岡県警察本部庁舎5階	(092)622-5000 内線2632	JR「古塚駅」下車 徒歩5分 又は 市営地下鉄箱崎線「馬出九大病院前駅」下車 徒歩2分

NATIONAL
POLICE
AGENCY



警察庁

警察庁事務官採用案内

国家公務員採用一般職試験
(大卒程度・行政・教養区分／高卒者・事務区分)

警察庁事務官とは

警察庁事務官は、警察行政の事務部門を担う、必要不可欠な存在です。その業務は幅広く、庶務、給与、会計、福利厚生、鑑識資料の登録等、様々なフィールドにおいてその中核となって活躍しています。

犯罪捜査等の警察権限の行使に関連する業務等を担当する警察庁警察官、警察独自の情報通信部門等を担当する警察庁技官と一体となって、警察組織を支えています。



CONTENTS

第1部 組織紹介

警察機構図 04

第2部 警察庁本庁

活躍のフィールド 07

お仕事クローズアップ 09

若手職員Q&A 10

職員の日 11

第3部 管区警察局 東京都・北海道警察情報通信部

活躍のフィールド 13

職員からのメッセージ 15

若手職員Q&A 16

職員の日 17

第4部 ワークライフバランス

仕事と育児等の両立支援制度 18

その他の制度 19

警察庁事務官は、警察庁本庁で採用される場合と、各管区警察局、東京都警察情報通信部、北海道警察情報通信部で採用される場合があります。

警察庁本庁で採用された場合は、警察庁内の各局部や附属機関に配属され、主に東京都内で勤務することとなります。採用後、キャリアアップの一環として、地方機関等で勤務する場合があります。



①～⑨で採用された場合は、それぞれの本局及びその管轄区域内の府県（①④についてはそれぞれの採用地）での勤務となりますが、警察庁等で勤務する場合があります。



警察庁本庁（東京都）



① 北海道警察情報通信部（札幌市）



② 東北管区警察局（仙台市）
管轄／青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島



③ 関東管区警察局（さいたま市）
管轄／茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・新潟・山梨・長野・静岡



④ 東京都警察情報通信部（東京都）



⑤ 中部管区警察局（名古屋市）
管轄／富山・石川・福井・岐阜・愛知・三重



⑥ 近畿管区警察局（大阪市）
管轄／滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山



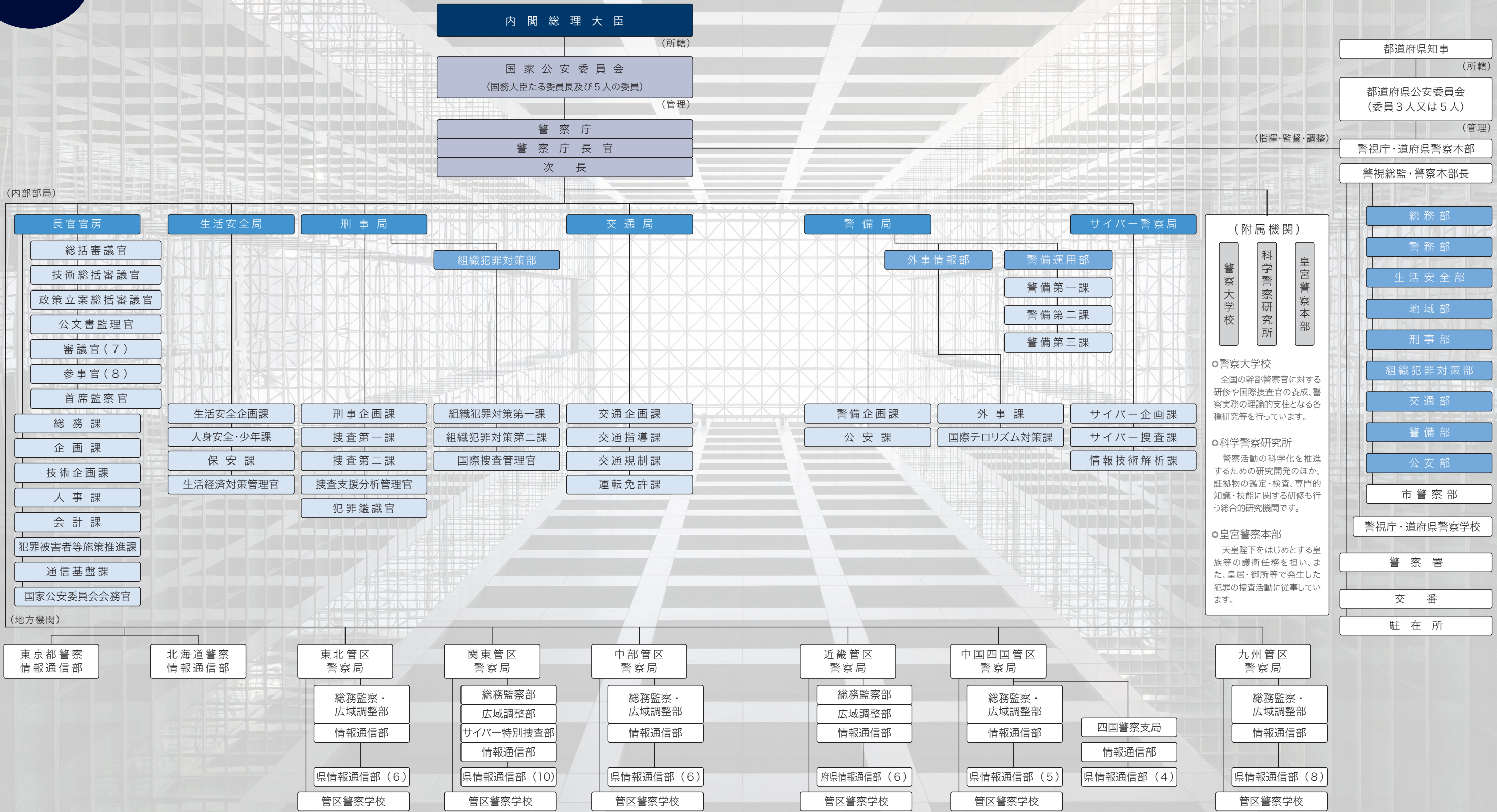
⑦ 四国警察支局（高松市）
管轄／徳島・香川・愛媛・高知



⑧ 中国四国管区警察局（広島市）
管轄／鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知



⑨ 九州管区警察局（福岡市）
管轄／福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄



警察の沿革

我が国の警察は、明治7年、当時の内務省に警保寮が設置されて以来、第二次世界大戦の終了まで、中央では内務省警保局、地方では知事によって管理運営されてきました。戦後の昭和22年に警察法が制定され、23年から国家地方警察と市町村自治体警察の二本立ての制度となりました。その後、29年に警察法が全面的に改正され、警察運営の単位が現在の都道府県警察に一元化されました。

国の警察機関

国の警察機関として、内閣総理大臣の所轄下にある国家公安委員会の管理の下に警察庁が置かれ、全国的な視野から治安維持の責務を担っています。「所轄」、「管理」とは、他省庁におけるような直接的な指揮監督関係との相違を意味する言葉で、その趣旨は、警察の政治的中立性を確保することにあります。また、警察庁は各種国際会議の主催・参加やICPO(国際刑事警察機構)への幹部の派遣等、「治安先進国日本」の警察として、各国警察との協力や、国際的な活動を積極的に行っています。

都道府県の警察組織

都道府県には、都道府県知事の所轄下にある都道府県公安委員会の管理の下に都道府県警察が置かれています。都道府県警察には、警察本部、警察署が設置されており、さらに、警察署の下部組織たる交番、駐在所のネットワークが全国に張りめぐらされ、安全で住み良い社会づくりを目指しています。

警察庁と都道府県警察の関係

都道府県警察はその管轄区域における一切の第一次的治安責任に任ぜられています。警察庁は、全国警察組織の中枢を占める中央官庁として、国家的・調整的見地から治安責任を担い、その所掌事務について都道府県警察を指揮、監督、調整しています。

警察庁とは

警察庁は、全国約30万人のマンパワーを擁する警察組織の中核機関であり、各種施策の企画立案等に当たるとともに、警視庁や道府県警察の指揮監督等を行うことにより、個人の権利と自由を保護し、公共の安全と秩序を維持することを任務としています。

警察
国家公安委員会
庁

チームを支える力に



平成31年 入庁

企画課 係員

私は企画課国際室の庶務係として、国際協力関係の出張旅費のとりまとめや、職員の勤務時間管理、業務で使用する物品管理など、チーム全体を支える業務を担当しています。国際室は日本警察と各国警察機関との架け橋として、国際的な警察活動を支える重要な役割を果たしており、会議やイベントが開催される際は、事務官も運営のサポートとして円滑な進行を支えるための大切な役割を担っています。

「警察組織における縁の下の力持ち」という言葉どおり、警察庁事務官はチームや警察職員が円滑に活動できるように支える、なくてはならない存在です。その業務は、いずれも警察活動の土台を作ることに繋がっており、私自身、日本だけでなく、世界の治安維持にも貢献していることを実感しています。



国民の安全・安心のために

パトカー、白バイ、けん銃。警察官とともに現場で活躍するこれらは、「装備品」と呼ばれます。私が勤務する会計課装備室では、多種多様な装備品や資機材について、全国の警察に配備するとともに、現場のニーズに応じた資機材の開発や改善も行い、第一線で活動する警察官を装備面から支えています。

私たち警察庁事務官は、第一線で活動する警察官とは異なる立場ですが、これまでの勤務経験を通して、国民の安全・安心につながる重要な責務を担っていると確信しています。

皆さんの持つ才能や能力を警察活動の基盤を支える力として発揮してみませんか。

国民の安全・安心のために、警察庁で共に働く日を楽しみにしています。

会計課装備室長

松井 秀夫

Matsui Hideo

昭和59年 入庁

警察組織の一員として

私は人事課人事係として、主に職員の採用や人事異動に関する業務に携わっています。

採用業務の一つとして、各所で実施される官庁説明会で警察庁の業務を紹介することがあります。限られた時間で警察庁の魅力を伝え、興味をもってもらえるよう試行錯誤していますが、警察組織の一員として大きなやりがいを感じます。

人事係の業務は、異動に関するものだけでも多岐に渡るため迷うこともありますが、上司や同僚と相談しながら業務に取り組んでいます。また、様々な経験を積んでいくことで、日々成長していることを実感しています。

警察庁事務官の業務は、警察組織を支える重要なものばかりです。これまでに勤務してきた所属においても、それぞれにやりがいや面白さがあり、

その経験が今も生きていることを感じながら充実した毎日を過ごしています。



平成29年 入庁

人事課 係員

犯罪情勢を統計から見る



捜査支援分析管理官付 係員

私は、捜査支援分析管理官付統計分析係として、犯罪統計に関する業務を行っています。犯罪統計とは、過去に発生した犯罪の件数等について数量として抽出するもので、犯罪情勢を客観的に把握するための手段として大きな役割を担っています。

日常目にする報道等において、統計分析係で抽出した数値が取り上げられた際には、この業務の重要性を感じるとともに、担当者として大きな責任があることを再認識します。

また、統計業務の中には法律に関する知識を必要とすることがあるため、自身での勉強が欠かせません。わからないときは上司や同僚に相談しますが、統計の内容によっては他の所属の方々に教えてもらうこともあります。業務を通して様々な分野の方と関わり学ぶことで、知識の幅を広げながら成長していることを実感できる場所もこの業務のやりがいの一つだと思います。



職員のサポート役として

私は、交通規制課庶務係の一員として、所属職員の給与や福利厚生に関する業務を担当しています。毎月支給される給与は、職員やそのご家族の生活と密接に関わるものですから、誤りがないようにすることはもちろん、年末調整などの必要な情報が漏れなく周知されることも重要です。また、警察庁は地方機関との人事交流も多く、異動に伴う業務として保険関係、宿舍関係、各種届出等、様々な手続きがあります。中には、初めて単身赴任する方、海外赴任から帰国する方もいますので、異動職員がスムーズに手続きできるよう、庶務係は正確な知識を身に付けて適切にサポートする必要があります。

国家公務員の勤務形態は、早出遅出勤務やテレワーク（在宅勤務）など、柔軟化が進んでおり、警察庁においても働き方の選択肢が増えてきています。



一人一人の生活に合った働き方を選択できることも、魅力の一つではないでしょうか。



交通規制課 主任

警察庁事務官の仕事には様々なものがあり、その中には「鑑識」に関わる業務もあります。どんな仕事をしているのか、実際に勤務している職員の声を聴いてみましょう。

事件の真相解明のために



犯罪鑑識官付 係員

Q 所属と担当業務を教えてください。

私は、刑事局犯罪鑑識官付DNA型鑑定係の一員として、全国の警察において採取された被疑者の資料を鑑定する鑑定官の補助作業に携っており、主に鑑定機器の操作や試薬調製業務を行っています。

Q 霞が関で勤務しているのですか？

私の勤務地は千葉県柏市です。市内にある科学警察研究所の建物の中に通称DNAセンターと呼ばれる一角があり、犯罪鑑識官付の職員が勤務しています。霞が関で勤務している職員もおりますが、ほかにも複数の勤務地があり、担当業務によって勤務地が異なります。

Q 警察庁事務官の仕事としては専門的な分野ですが何か資格が必要ですか？

私は警察庁事務官として採用されましたが、実は今の官職は「警察庁技官」です。犯罪鑑識官付に配属されると、「事務官」で採用された者も「技官」として改めて任命されます。最初は驚きましたが、今はすっかり慣れました。

確かに業務の内容は専門的ですが、特に必要な資格はありません。私自身、採用されてすぐに配属されたので、何の知識もありませんでした。最初は大変でしたが、新任者に対する研修も充実しており、経験豊富な先輩方がたくさん在籍されているので、初めての業務でも心配する必要はありません。

Q どういうところが大変でしたか？

私たちの業務では、犯罪事実の立証において重要な証拠を扱っています。あらゆる作業において注意力や正確性が求められるため、非常に緊張感があります。同時に、犯罪捜査の第一線で働く警察官の捜査活動を助け、また、事件解決にも貢献できるという点においては大きな喜びとやりがいを感じています。

Q 職場の雰囲気はどのようなですか？

業務の内容によってはかなりの集中力を必要とするので、その時ばかりは各自、黙々と作業に取り組んでいます。こういうと息が詰まるような職場かと思われるかもしれませんが、全然そんなことはありません。上司や同僚とのコミュニケーションも積極的に行われていますし、とても明るい雰囲気の職場です。また、計画的に休暇が取得できるので、仕事もプライベートも充実しています。





入庁の決め手は？

企画課 係員
令和6年入庁

A 私は、人々の安全・安心を守る組織である警察関係の仕事に就きたいと考え、調べていくうちに、警察庁の存在を知りました。全国警察の中枢であり、大きな規模で仕事ができるところに魅力を感じました。その中で警察庁事務官の仕事は、最前線で働く職員が安心して業務に取り組めるようサポートすることであることがわかり、私もその一員として警察組織に貢献したい、と強く思い入庁を決意しました。また、官庁訪問の際、緊張していた私に担当の職員の方が優しく声をかけてくださったことも大変印象に残っています。



今の仕事の内容と苦労している点は？

総務課 係員
令和4年入庁

A 私は現在、記者会見や報道機関の記者対応を行う広報業務を担当しています。業務では予定が急に変更になることも多く、柔軟な対応や迅速な連携が求められます。また、記者対応など警察職員以外の方とも接する機会が多く、緊張感のある場面もありますが、落ち着いて臨機応変に対応しています。

最初は不安に感じることもありましたが、周囲からのサポートもあり、この業務ならではの貴重な経験が多くあるので、とてもやりがいを感じています。



職場の雰囲気は？

捜査第一課 係員
令和6年入庁

A 入庁してすぐの頃は、慣れていないこともあって緊張しましたが、わからないことは親切丁寧に指導してくださる先輩方のおかげで、安心して業務に取り組めるようになりました。

警察組織というと、一般的なイメージで上下関係が厳しいように思われがちですが、実際はそのようなことはなく、上司から気さくに話しかけてくれるなど相談しやすい雰囲気です。また、第一線で勤務する警察官は男性が多いこともありますが、警察庁事務官は女性の数も多く、明るく活気のある職場だと思います。



志望者へのメッセージ

犯罪被害者等
施策推進課 係員
令和3年入庁

A 警察庁事務官の仕事は多岐に渡り、第一線で働く警察職員を支える縁の下での力持ちとして、一人一人が誇りと使命感を持って日々業務に励んでいます。真剣に業務に取り組む中でも楽しくやりがいを感じながら毎日過ごすことができるのは、気さくに接して下さる上司や先輩方のおかげだと感じています。また、休暇等は取得しやすく、保険制度も充実しているなど、福利厚生もしっかり整っているため、充実した毎日を送ることができます。

皆さんも警察庁事務官を将来の選択肢に加えてみませんか。

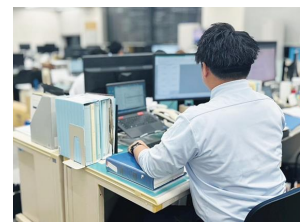
9:30 出勤



朝は子どもたちの身支度や保育園への送りなどで慌ただしく時間が過ぎていきます。

「パパ、いってらっしゃい！」子どもたちの笑顔とハイタッチに元気をもらい、出勤します。夫婦ともにフルタイムで勤務しているので、時には保育園の送迎などのために勤務時間を変更するなど、ライフスタイルに応じて柔軟に対応しています。

10:00 資料作成



担当している遺失物業務は、全国の都道府県警察から問合せがあります。実際に警察署で勤務した経験を生かし、これらの問合せへの対応や、マニュアル等の作成を行っています。拾得物等を担当する現場の警察職員が、どうすれば円滑に手続きを進められるか、日々考えながら業務に取り組んでいます。

12:00 昼食



昼休みは気分転換で同僚とランチに出掛けることもあります。昼休み中はできる限り仕事のことは忘れて、ONとOFFの切り替えを大切に、午後の業務に向けて、リラックスしたひとときを過ごしています。

13:00 会議準備



都道府県警察本部との会議実施に向けて、開催準備を行います。オンライン形式の場合は、パソコン・マイク等の準備や、通信環境のチェックを行います。会議資料はポイントを整理しておくなど事前にしっかり確認し、上司との打合せを効率よく進めます。

15:00 会計監査



担当している監査業務では、警察庁の各所属や都道府県警察の会計業務が適切に行われているか監査を実施します。各都道府県警察へ出張することもあり、事前に確認すべき観点を整理しておくことで、スムーズに監査を行うことができます。

18:15 退庁



翌日以降の対応について優先順位などを整理し、定時退庁を心掛けています。帰宅後は夕食、お風呂、寝かしつけなど、子どもたちとの時間を大切に、忙しい平日も夫婦で協力しながら乗り越えています。

休日の過ごし方

休日は家族とゆっくり過ごしつつ、充実した時間を過ごしています。車で出かけることが多く、家族と一緒に色々な観光地を巡ったりしています。もちろん子どもたちと遊ぶことにも全力投球。妻や子どもたちの笑顔が日々の仕事の活力となっています。



管区警察局とは

警察庁の地方機関であり、警察庁と管区警察局の管轄区域内にある各府県警察本部との重要なパイプ役、調整役を果たしており、各府県警察の要請と全国又はその地域一体の警察運営の調整を図るなどしています。

全国には、6つの管区警察局（東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州）と1つの支局（四国）があり、管区警察局には附置機関として、管区警察学校があります。

東京都・北海道警察情報通信部とは

東京都警察情報通信部及び北海道警察情報通信部は、情報通信部門の地方機関のうち、管区警察局の管轄に属せずに警察庁が直轄する組織として置かれています。

なお、東京都及び北海道以外には、管区警察局の出先機関として府県情報通信部が置かれています。

感謝の言葉を糧に



令和2年 入庁
関東管区警察局警務課 主任

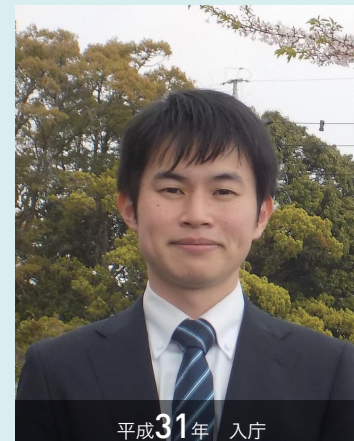
私は現在、警務課において人事係を担当しています。人事係の業務は職員の採用、人事異動、昇任試験など多岐にわたります。これらは職員への給与支給など、関係所属の業務にも影響するため、正確性や保秘の点に十分留意しつつ、緊張感を持って取り組んでいます。

私が主に行っている業務に、人事記録の登録作業があります。人事記録とは、職員一人一人の給与や異動に関する情報がすべて記載されたものです。異動後も引き継がれていく重要な情報なので、慎重かつ正確に登録するよう心がけています。また、就労証明書の発行等、職員の生活に直接関わる業務も多くあるため、迅速な対応が取れた際には感謝の言葉をかけられることもあり、やりがいを感じます。

人事係として多くの経験を積み、幅広い知識を身に付けていくことで、日々自身の成長を感じながら業務に取り組んでいます。



現場活動を支える



平成31年 入庁
中部管区警察局
三重県情報通信部通信庶務課 主任

私は、資材係として物品管理に関する業務を担当しており、警察官が実際に現場で使用する資機材の調達にも関わっています。国内で大規模イベントが開催される際には、多くの警察官が雑踏警備等の任務に従事します。その際に使用する無線機などの物品は、何百台単位で全国から借り受けるため、事前の調整連絡、必要書類の作成、イベント前後の数量確認等、準備作業も膨大となります。

三重県は全国的に有名な「伊勢神宮」があり、要人の来県も頻繁にあるため、このような物品調達は毎年のようにあり、部内で協力して対応しています。大量の物品を確実に調達し、数量管理に気を配る作業は大変なこともありますが、自分関わったイベントが無事に終わり、その様子をテレビで目にした時は、大きな達成感を得ることができます。



警察職員のサポーター



令和3年 入庁
近畿管区警察局通信庶務課 主任

私は人事給与係として、通信系の職員の人事異動、採用、給与に関する業務に携わっています。人事記録の管理や給与関係の各種届出のとりまとめなどのデスクワークのほか、採用活動として業務説明会や採用面接の準備、来訪者への対応などを行うこともあります。

業務は多岐にわたりますが、いずれも警察職員を支え、ひいては警察組織全体を支える必要不可欠な業務です。また、日常の業務では職員が働きやすいようサポートを行っていると感じる場面も多く、大きなやりがいを感じています。

まだまだ初めて経験することも多く、わからないことや迷うこともありますが、上司や同僚に助けられながら、責任感を持って業務に取り組んでいます。



未来の警察活動を支えるために



平成29年 入庁
四国警察支局通信庶務・施設課 係長

私は、人事給与係の係長として、主に情報通信部の人事に関する業務を担当しています。情報通信部には事務官のほかに技術系職員が多数在籍しており、警察情報通信の確保や犯罪の取締りのための電子機器の解析などの業務を中心に警察活動を支えています。

技術系職員には専門的かつ高度な知識が求められるため、多くの人の中から警察庁が求める人材を発掘していくことは、人事担当として必要不可欠だと感じています。そのため、私が行っている採用活動では、業務説明会等を通じてまずは警察庁のことを知ってもらうこと、そして興味を持ってもらうことを心がけています。こうした地道な活動が、未来の警察活動を支えることにつながっていることを実感しながら、日々やりがいをもって業務に取り組んでいます。



正確かつ丁寧に



令和3年 入庁
函館方面情報通信部通信庶務課 主任

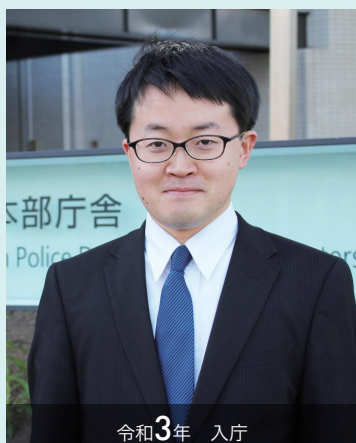
私は経理係として、部内組織の予算管理や業者との契約関係、職員の出張計画の作成等の業務を行っています。

最初は初めての業務でわからないことばかりでしたが、上司や先輩からの的確なアドバイスや各種研修への参加、実務経験の積み重ねにより、この一年でたくさんの知識を身に付けることができました。

経理係の仕事は配付された国の予算を直接扱うため、1円単位での正確性が求められます。そのため緊張感と責任感を伴いますが、適時適切な予算執行ができた時には大きな達成感があります。また、忙しい時期にあっても、誤りのないよう丁寧な仕事をするよう心がけ、日々自分が成長していることを実感できることも、やりがいの一つになっています。



制度活用の推進を目指して



令和3年 入庁
東京都警察情報通信部通信庶務課 主任

私は現在、庶務係として職員の勤務時間、出張旅費、宿舍等の管理業務を行っています。これらの業務のほとんどには、根拠となる法令や通達などがあります。そのため、庶務係は法令等の知識はもちろんのこと、正しく制度を理解する必要があります。

近年、テレワークやフレックスタイム等の活用で働き方が多様化しており、制度や諸手続について問合せを受ける機会が増えています。自身の知識を生かして、実際に制度が活用されていることに大きなやりがいを感じています。

また、庶務係の業務はどれも職員の勤務や生活を幅広く支える、大きな責任のある仕事です。適切かつ正確な事務処理が求められるため判断に迷うこともありますが、上司や同僚と相談しながら、日々業務に邁進しています。



中国四国管区警察学校庶務部庶務課長

中本 勝久
Nakamoto Katsuhisa

平成5年 入庁

陰の主役として ～必要とされる役割～

当校は、中国四国管内9県警察の幹部となる警察官等に対して、必要な知識や技能の習得、指揮能力の向上を図るための教育訓練を行う機関です。入校生はスキル向上と気力体力の鍛錬に励み、卒業時には治安のスペシャリストとして、また、治安維持の最前線に立つ幹部として、現場に復帰していきます。

私は庶務課長として、校内行事の立案や調整、教職員の人事業務や給与等の支給、職場教養の実施や教職員、入校生の健康管理など、円滑な学校運営と健全で働きやすい勤務環境を構築するべく日々邁進しています。

我々警察庁事務官は決して目立つ存在ではありませんが、警察組織の基盤をしっかりと支えるために必要とされる役割を持っており、国民の安全・安心を陰で支えていることに変わりありません。むしろ、私は、この「陰の主役」に徹することに、揺るぎない使命感と達成感を感じています。

あなたも「陰の主役」として、私たちと一緒に国民の安全・安心を支えてみませんか。



組織の屋台骨を支える

私が勤務する高知県情報通信部では、警察の神経系統としての情報通信システムの整備や維持管理、犯罪捜査における電磁的記録の解析等を通じて第一線警察活動を支えています。私は通信庶務課長として、それらの活動を行うために必要な職員の人事管理、給与、福利厚生のほか事業予算の管理・執行、物品管理等の事務を担当しています。

組織の経営資源を表す言葉として、「ヒト・モノ・カネの三原則」があります。警察庁事務官の仕事は、警察官のような華やかで目立つ仕事ではありませんが、人事管理や人材育成の「人」、警察活動に必要な装備資機材の調達や管理の「物」、それらに必要な予算の確保や執行の「金」を扱うことにより、間接的ではありますが、国民の安全・安心の確保に貢献できるものです。

私も常に、自分自身の仕事が組織の屋台骨を支え、巡り巡って第一線警察活動を支えているという自負を持って日々の業務を行っています。

国家公務員を目指している皆さん。国民の安全・安心を支える私たちの職場でああなたの力を生かしてみませんか。



四国警察支局
高知県情報通信部通信庶務課長

山田 孝司
Yamada Takashi

昭和62年 入庁



入庁の決め手は？



関東管区警察局
通信庶務課 主任
令和4年入庁



A 私は、誰かをサポートできるような仕事に就きたいと考えていたため、国民の生活基盤を支えている国家公務員を志しました。警察庁事務官は、警察官のように第一線で活躍することはありませんが、警察活動を円滑に進める上で重要な役割を担っており、必要不可欠な存在です。そして、警察組織の一員として警察活動を裏方でサポートすることも、間接的に治安維持に貢献することができるという点が魅力的であり、入庁の決め手となりました。



職場の雰囲気は？



東北管区警察学校
庶務課 係員
令和5年入庁



A 入庁するまでは体育会系のイメージを持っていましたが、穏やかで優しい方が多く、仕事上で困っていることがないか、いつも気に掛けてくださっていると感じます。経験豊富な先輩方に恵まれており、仕事でわからないことがあっても相談しやすい雰囲気なので、安心して業務に集中することができます。忙しい時期もありますが、計画的に休暇を取得して仕事への英気を養うなど、課内の全員がメリハリを持って業務に取り組んでいます。



今の仕事の内容と苦労している点は？



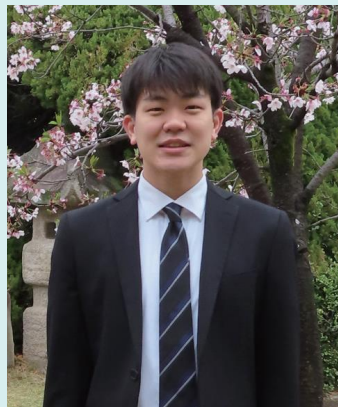
九州管区警察局
鹿児島県情報通信部
通信庶務課 主任
令和4年入庁



A 私は現在、庶務係として職員の給与や勤務時間管理、福利厚生などの業務を担当しています。給与業務では、あらかじめ設定された月初めの期限に向けて、迅速かつ正確な処理が求められます。また、勤務時間管理は給与とも密接に関係しているため、職員一人一人の勤務状況を確実に把握する必要があります。異動時期は業務量が多くなるため大変ですが、常に心に余裕を持つことを意識して、丁寧に業務に取り組んでいます。



志望者へのメッセージ



中国四国管区警察局
警務課 係員
令和6年入庁



A 警察庁事務官は、第一線で活躍する警察官、情報通信部門を支える警察庁技官とともに、「国民の安心・安全を守る」という共通の使命をもって、日々業務に取り組んでいます。また、職場ではワークライフバランスを推進しており、休暇等も取得しやすいため、仕事もプライベートも充実させることができます。

警察庁事務官として日本の治安維持のために働きたいという強い意思を持った方と一緒に働ける日を楽しみにしています。

8:30 出勤



職場の定時は9:30～18:15ですが、私は早出勤制度を利用して1時間早く出勤しています。自宅が遠方のため通勤に1時間半かかりますが、自己啓発のために資格の勉強などをして、長い通勤時間を有意義に過ごしています。

10:00 問合せ対応



担当する給与厚生係には、管内の府県情報通信部、府県警察本部などから問合せが多数寄せられます。質問内容は、給与システムの使い方、各種手当の認定の考え方など様々です。管区警察局として正確に回答する必要があるため、一人での対応が難しい場合には、上司と相談して回答します。

12:00 昼食



昼食は庁舎内にある食堂へ行くことが多く、同期と一緒に食べたりしてリフレッシュしています。食後の休憩時間は小説を読むなどリラックスして過ごし、午後からの業務に備えて英気を養っています。

13:00 諸手当の認定



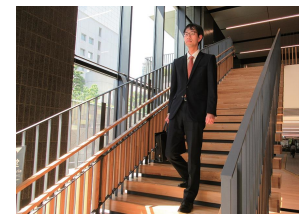
局内で勤務する職員の諸手当について、認定業務を行います。ほとんどの職員が受給する通勤手当は、実際に利用している経路、交通手段等を確認する必要があります。また、認定要件等の正確な知識がなければ、支給額が本人にとって不利益となる場合もあるため、常に最新の情報を収集するなど慎重に認定作業を行っています。

15:00 各種調査対応



給与厚生に関する様々な調査について、回答案を作成します。その中でも給与の予算に関する調査は実際の支払いに影響するため、気を引き締め取り組めます。管区局全体でどれくらいの額が必要となるかという予算の使用見込みについては、業務の合間を見て日頃から試算しておき、すぐに対応できるようにしています。

17:15 退庁



繁忙期には残業することもありますが、基本的には定時で退庁しています。早出勤は早起きが大変そうに思われますが、その分早く帰って充実したプライベートの時間を楽しむことができます。私も外が明るいうちに帰宅して、ゆっくりリラックスした時間を過ごしています。

休日の過ごし方

休日は自宅でのんびり過ごすことが多いですが、友人と計画して旅行に行くこともあります。採用後の2年間で様々なところに行きましたが、特に神奈川旅行が印象に残っています。湘南の美しい景色や横浜の中華街、鎌倉の大仏など見所がたくさんあり、1年で2回訪れるほどお気に入りの場所になりました。そのような場所が全国に増えるように今後も旅行は続けたいと思っています。



仕事と育児等の両立支援制度

職員のライフステージには、妊娠・出産・育児・介護など、様々な事情が生じる可能性があります。
これらの事情に対応しながら働き続けるために、国家公務員には様々な支援制度があります。

出産・育児に関する制度の例

産前休暇
(出産予定日の6週間前から)

産後休暇
(出産の日の翌日から8週間)

配偶者出産休暇
(妻の出産に係る休暇：2日間)

育児休業
(3歳まで)

子の看護等休暇
(小学3年生まで：年5日)

育児短時間勤務
(小学校就学まで：通常より短い勤務時間)

女性職員へのインタビュー



技術企画課 係員 | 平成26年入庁

Q 出産・育児に関してどのような制度を利用しましたか？

産前・産後休暇に育児休業を2年半、復帰後は子どもの保育園送迎のため、早出勤制度と休憩時間の短縮を利用しています。子どもの体調不良時や定期健診等がある場合は、子の看護休暇(特別休暇)を取得しています。



Q 実際に利用してみて、どのように感じましたか？

幸い出産・育児を経験されている先輩方が周りに多く、相談もしやすい環境でしたので、育児休業の申請などの手続きもスムーズにできました。復帰のタイミングで所属異動となったため不安もありましたが、育児に関する様々な制度を有効に活用し、無理のない範囲で仕事と育児を両立しています。子どもの体調不良等で急に休むこともあります。周囲のサポートのおかげで日々安心して業務に取り組んでいます。

Q 育児によって働き方は変わりましたか？

子どもが生まれる前はあまり時間を気にすることなく業務を行っていましたが、復帰後は突発的に休む可能性を考えて予定を立て、計画的に取り組むようになりました。限られた時間の中で効率よく業務をこなすためにはどうすればよいか、自分なりに工夫しながら充実した日々を送っています。業務の繁忙期には家族の協力を得ながら乗り越え、休日は家族とゆったり過ごしたり、遠出をしたりしてリフレッシュしています。



Q 女性志望者へのメッセージをお願いします。



女性は妊娠・出産など様々なライフイベントが控えておりますが、警察庁にはイベント後も引き続き働くことができる制度と環境が整っています。そのため、どのような方でも自分のライフスタイルに合わせて活躍ができ、仕事との両立を実現できる点が大きな魅力の一つです。警察庁事務官として皆さんと一緒に働く日を心待ちにしております。

一日のスケジュール

- 5:30 起床
- 6:00 朝食、支度
- 6:25 出勤
- 7:45 登庁
- 12:00 昼食、休憩
- 12:45 午後勤務開始
- 16:25 退庁
- 17:45 保育園迎え
- 18:20 散歩しながら帰宅
- 18:30 夕食、家事
- 20:30 お風呂
- 21:30 自由時間、絵本読み
- 22:00 就寝

その他の制度

研修制度

採用直後に管区警察学校等に2週間程度入校し、新任研修を受けることとなります。また、昇任時の「任用科」、情報通信部門や会計部門等の専門分野に特化した「専科」など、系統的に能力の向上を図るための研修が用意されています。

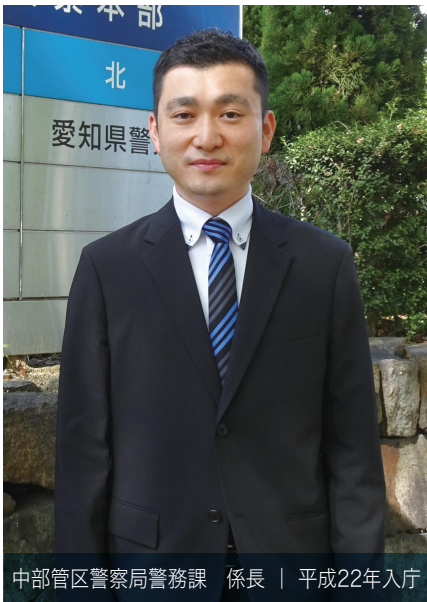
休暇制度

年間20日間(採用年は15日間)の年次休暇のほか、夏季は連続3日間の特別休暇があります。また、結婚する場合や親族が死亡した場合などに取得できる休暇もあり、いずれも有給休暇となっています。

福利厚生

共済組合制度があり、各種保険、短期・長期給付事業等、警察職員が安心して快適に職務に専念することができるよう充実した福利厚生の仕組みが整っています。また、各種契約施設を割引で利用することができます。

男性職員へのインタビュー



中部管区警察局長 | 平成22年入庁

Q 出産・育児に関してどのような制度を利用しましたか？

妻の出産時に、配偶者出産休暇(2日間)を利用しました。また、里帰り出産だったため、妻が自宅に戻ってくるタイミングで育児休業を1箇月取得し、生活が安定するまでの間、妻と協力して育児に専念しました。



Q 実際に利用してみて、どのように感じましたか？

育児休業を取得するにあたって周囲に迷惑をかけないか不安でしたが、相談した上司から暖かい言葉をかけてもらい、安心することができました。また、育児休業に向けて所属全体で業務分担を調整するなど、負担が偏らないように協力体制を構築してもらったことも心強かったです。また、復帰後も子どものための休暇をとりやすい雰囲気だったので、とてもありがたいと感じました。

Q 育児によって働き方は変わりましたか？

妻の妊娠が判明した段階で、育児休業だけでなく「育児参加のための休暇」や「子の看護休暇」など、男性でも活用できる様々な支援制度があることがわかりました。実際に育児をするようになり、これらの制度を利用しながら計画的に仕事を進めるようになりました。今後は「早出遅出勤」を活用して子どもを保育園へ送迎するなど、仕事と育児の両立に精一杯取り組んでいくつもりです。



Q 志望者へのメッセージをお願いします。

警察庁は、仕事と育児の両立のための制度が充実しており、また、安心して制度を活用できるような環境が整っています。
国民の安心・安全を守るやりがいのある仕事と育児を含めた家庭生活の両立という、ワークライフバランスを実現することができる職場です。
皆さんも警察庁事務官として充実した毎日を送ってみませんか。



一日のスケジュール

- 6:30 起床
- 7:00 朝食、支度
- 7:45 出勤
- 8:30 登庁
- 12:00 昼食、休憩
- 18:00 退庁
- 18:45 帰宅
- 19:00 夕食、家事
- 20:00 入浴、子どもとの自由時間
- 23:30 就寝
(深夜にオムツ交換、ミルク)